

2015年(平成27年)11月30日
石油化学新聞 掲載

高流動品 電子部品の微細化支援 低融点化し新規用途喚起

上野製薬

LCCP

上野製薬は、LCCP用途の開拓にも積極的
「UNION LCCP」事 取り組む。生産能力の増
強や海外での供給体制も
CP原料で世界最大手に 対応していく考えだ。

位置する強みを生かした
けを販売する。LCCPは伊丹工場(兵
庫県)で生産する。ニ
年未の増強で年産270
の展開も強化する。新規

料からポリマー、コンパ P 本来の成形加工性を保
W ンドまでの一貫生産体 持しながら熱伝導率を標
制。主原料のPOB(バ 準品の2倍に高めた製品
ラオキシ安息香酸)やB 「TCEI」を開発、協販
ON6(2-ヒドロキシ につなげる。

「6-ナフトエ酸」は四 新規用途としては、L
日市工場で生産し、P O C P の耐候性やバリア
BはLCCP以外の用途へ 性、制振・消音特性、耐
も展開する。LCCP原料 薬品性などを生かした領
域を期待する。通常は低
では、技術力と連続法に 域を期待する。通常は低
よる高い競争力などから コスト化を図るため、他
世界トップシェアを維持 樹脂とのアロイ化や積層
している。

LCCPはコネクターや の高い加工温度がネック
モーターインシュレータ となり、広がっていない
Iなどの電気・電子部品 い。これを促進するた
向けの主力とする。パソ ため、共重合により融点を
コン需要の減少などで伸 220度Cに低減した
び悩んでいたが、モバイ 「A8100」を開発
ル向けの拡大で回復して した。PPに3%ほど添
きた。モバイル向けの電 加するだけで耐候性が大
子部品は一層の微細化が きく改善するなど、少量
求められるため、フリス 添加によりコストを抑え
ターの発生を抑えながら ながら機能を付与するこ
流動性を高めた新製品 とができ、各種用途で評
「UX207」などで拡 価、検討が進んでいる。

販を加速する。低誘電 容器やフィルム向け、あ
率、低誘電正接のグレー ーは自動車、OA機
ドによるアンテナなどの 器、アミューズメント、
高速高周波対応領域もテ 音響機器向けなどで拡大
ーマが増えてきた。 を期待する。

た。コンパウンドは約1 500t能力の自社設備
500t能力の自社設備 に加え、国内複数社に生
産委託する。海外比率は 50%前後に達し、さらに
増に対応していく。研究 増に対応していく。研究
開発と顧客への技術支援 開発と顧客への技術支援
は技術開発部(兵庫県三 田市)を中心に行う。

同社の強みの一つは原 特殊ファイラーの活用でLCC

「UNION LCCP」事 取り組む。生産能力の増
強や海外での供給体制も
CP原料で世界最大手に 対応していく考えだ。
位置する強みを生かした
けを販売する。LCCPは伊丹工場(兵
庫県)で生産する。ニ
年未の増強で年産270
の展開も強化する。新規